

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 149 (通算 434 回)
大学の風土改革から――

2009 年 8 月 31 日(月)

教員評価・人事制度の進化と運用Ⅲ

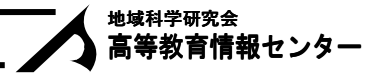
～ 国際比較／教育志向のファカルティ／実現方策 ～

- ※ 日本の大学教員の特徴～CAP17 カ国調査から／教員風土・人事改革／スカラシップ再考
- ※ [常葉学園大] 評価手法と昇任・処遇システム／組織と教員の個性／研修制度の拡充
- ※ [金沢星稜大] 大学憲章と“教員像”の共有／業績評価システムの実際／授業参観と面談

● 講師陣 ●

木宮 岳志 氏 / (学) 常葉学園副理事長・人事監
有本 章 氏 / 比治山大学高等教育研究所長・教授
岡部 昌樹 氏 / 金沢星稜大学人間科学部教授・総合研究所長

2009 年 8 月 31 日(月) 剛堂会館ビル 会議室 (東京・麹町)



地域科学研究会
高等教育情報センター

日時：2009 年 8 月 31 日(月) 10:30～16:50
会場：剛堂会館ビル (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)
千代田区紀尾井町 3-27 03(3234)7362
アクセス：東京メトロ有楽町線
「麹町駅」1 番出口より徒歩 4 分
JR 中央線・総武線
「四ツ谷駅」麹町口より徒歩 10 分
※会場の地図及び受講証を送付しますので、必ずご確認ください。

参加費：A. ご一名 (資料代込) 40,000 円 (消費税込)
B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付) 41,000 円 (送料、消費税込)

※参加費の払い戻しはしませんので、申し込まれた方の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

☆FD・SD 及び BD 研修の本格化に伴い、2007 年から受講・修了証明書を発行しております。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ FAX または E-mail にてご送付ください。
支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
郵便振替 00110-8-81660

全ての口座名<(株)地域科学研究会>
※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申込先：地域科学研究会・高等教育情報センター
東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
Tel: 03 (3234) 1231 / Fax: 03 (3234) 4993
E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp
URL: http://www.chiikikagaku-k.co.jp/

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 149 2009 年 月 日
教員評価・人事制度の進化と運用Ⅲ 当日参加 メディア参加
(に✓印を入れてください)

勤務先 _____

所在地 〒 _____

TEL _____ FAX _____ 連絡部課・担当者 _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

〈通信欄〉支払方法 (郵便振替・当日払い・銀行振込) 必要書類 [請求書 見積書]

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:30 12:20	<p>□ [常葉学園大] 教員の評価手法と昇任・処遇システム ～地方における小規模大学のミッションを見据えて～ (学) 常葉学園 木宮 岳志</p> <p>1. 常葉学園における大学教員評価システム (1) 絶対評価と相対評価の併用 (2) 努力主義と成果主義の併用 (3) 自己申告制度の導入</p> <p>2. 教員評価と昇任・処遇との関係 (1) 評価を反映させない定期昇給制度 (2) 評価を反映させる賞与制度 (3) 大学教育職員昇任基準の改正</p> <p>3. 研修制度の充実・強化 (1) 教員評価と研修制度との関係 (2) 新任教職員研修の実施 (3) 授業力向上強化月間の実施</p> <p>4. 今後の課題 (1) 個性ある大学を目指して (2) 組織の個性と教員個人の個性との調整 (3) 大学と教員のコミュニケーションの充実 (質疑応答)</p>
13:20 15:00	<p>□ 日本の大学教員の意識・行動の特徴と教員評価の課題 ～CAP17 カ国調査から／教員風土・人事の改革／スカラシップ再考～ 比治山大学 有本 章</p> <p>1. 大学教授職の国際比較 (1) 大学教員と大学教授職 (2) 変貌する日本の大学教授職—カーネギー調査 (3) 苦悩する世界の大学教授職—CAP 調査</p> <p>2. 日本の大学教授職の特徴—国際比較 (1) 学問の自由—管理運営への参画 (2) 移動性—開放性と閉鎖性 (3) 学問的生産性—研究生産性と教育生産性</p> <p>3. 教員評価の現状と課題 (1) 教員評価モデル—ドイツ型・アングロサクソン型・ラテン型 (2) 日本型の長所と短所—研究志向 vs. 教育志向 (3) 日本型 FD の見直し—意識と政策の乖離</p> <p>4. 教員風土と人事の改革 (1) ストレス度と幸福度の間—格差社会の進捗とジレンマ (2) 国際化—学問的生産性の国際競争力 (3) 21 世紀型人事—スカラシップ再考 (質疑応答)</p>
15:10 16:50	<p>□ [金沢星稜大] “教員像”の共有・具体化のための教員業績評価システムの活用 ～全教員の授業参観と個別面談を踏まえて～ 金沢星稜大学 岡部 昌樹</p> <p>1. 大学憲章第3章(教員の行動規範)第3節のP-D-C-A (1) 大学憲章(教員の行動規範)の特色 (2) 教員業績評価システムの導入背景 (3) 教員業績評価システムの導入目的</p> <p>2. 教員業績評価システムの特色 (1) 4領域(教育・研究・地域貢献・大学行政)の特色 (2) 簡便な入力システム (3) 簡便なデータ処理とフィードバックシステム</p> <p>3. 教員業績評価システムの活用 (1) 自己研鑽としての活用(省察・意見書・点数申告) (2) 教員業績評価結果・個人シートに基づく個別面談 (3) 人事考課への活用</p> <p>4. 教員業績評価システムの改善と課題 (1) 評価部による授業参観・評価結果の活用 (2) 学生による授業評価の活用 (3) 全教員による授業参観・評価システムの確立 (質疑応答)</p>